

2023（令和4）年度 第2回苫小牧市美術博物館協議会

日 時：2023年3月22日（水）  
13時30分～14時50分

会 場：苫小牧市美術博物館1階研修室A

出席委員 内海委員、大塚委員、菊地委員、木村委員、斎野委員、  
林委員、山田委員、渡邊委員  
(欠席) 田中委員、中村委員、  
事務局 福原教育長  
(美術博物館) 藤原館長、細矢主査、遠藤主査、江崎主査、岩波学芸員、  
沖津主任学芸員、立石学芸員、佐藤学芸員、岡本学芸員

- 
- 1 開会 (進行) 遠藤主査
  - 2 挨拶 福原教育長
  - 3 議事
    - (1) 苫小牧市美術博物館実施計画・4期目
    - (2) 令和5年度事業計画
    - (3) 令和5年度予算
    - (4) 令和3年度苫小牧市美術博物館自己点検評価
    - (5) その他

議事進行 斎野会長

(1) 苫小牧市美術博物館実施計画・4期目について、事務局から説明をお願いします。

事務局

この実施計画は、当館の基本理念の実現に向け、平成24年に第1期の実施計画が始まり、以後、3ヵ年毎に事業の見直しを行いながら策定しています。

2期目までは、複合施設の特性を活かし事業が実施されたことで、幅広いニーズなどに対応でき、入館者を大幅に増加させることができたこと、外部機関とネットワークが強化されたこと、ボランティアなどが育成され、市民協働のしくみができたことが成果としてあげられます。今年度が最終年度であった3期目は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、臨時休館やイベントの中止などを余儀なくされ、計画した事業を満足に行えないまま期間を終了するに至りましたが、特別展、企画展の開催による企業連携の強化や登録ボランティアの活躍の場の拡充など、一定の進展をみた事業もありました。

これらを踏まえ、取組みが充分に行えなかった3期目の方針を継続し、2期目までに広げた活動を深めていく期間として、事業全体の活動基本方針を元に各種事業を実施していきます。

活動基本方針は、(1) あつめる、(2) そだてる、(3) ひろげるの3点を方針とします。

各事業の計画ですが、(1) 展示事業では、特別展を年1回、企画展は年3回を基本に展示会を開催します。また、令和5年度は美術博物館10周年、令和7年度は苫小牧市博物館開館40周年にあたることから、その節目を記念した展示事業を展開します。

展示事業の内容ですが、特別展では、令和5年度は「縄文と現代～共鳴する美のかたち」と出光興産株式会社北海道製油所の創業50周年および美術博物館の開館10周年を記念した特別展、「出光美術館名品選」を開催します。令和6年度は、石川県の九谷焼美術館と連携した特別展「九谷赤絵の極致「宮本屋窯」の世界」を、令和7年度は、没後50年にあたる棟方志功の特別展を開催します。

次に、企画展では、令和5年度は、「美術所蔵名品選：風景画×静物画編」展の外、2回の企画展を開催します。令和6年度は、「ボン・ヴォヤージュ！」展の外、2回の企画展を開催します。令和7年度は、「戦後80年 苫小牧と戦争」の外、2回の企画展を開催します。このほか、収蔵品展・特集展示、中庭展示を開催します。

次に、教育普及事業は、子ども達の学習意欲や豊かな心を育むことや、次世代の担い手を育成するという方針のもと、教育普及プログラムを「知る」「学ぶ」「学校連携」に分け、幅広い市民を対象にしたプログラムを実施します。

次に、資料の収集、保存の活動では、苫小牧周辺地域の資料を収集し、適切に管理するという方針のもと、資料のデジタル化、データ化を進め、多様な活用を展開できるよう積極的にデータの公開を進めていきます。

広報・CS向上の推進では、さまざまな広報媒体を用いて情報発信を行うことや、アンケートにより利用者のニーズを把握することで利用者が利用しやすい環境を整えるという方針のもと、SNS等を利用した情報発信、外国語の案内表記などに取り組みます。

市民協働では、調査研究支援団体と連携した活動を行うという方針を元に、活動に必要な各種事業を進めます。ボランティア活動では、当館の登録ボランティアの各研修、メニューの充実をはかり、活動の強化を行っていきます。さらに、地元企業やNPO法人と連携した活動を推進するとともに、特に地域包括連携協定を結んだ北海道大学苫小牧研究林との連携事業を新たに進めます。

埋蔵文化財の保護では、遺跡のパトロール等の通常業務を通常行います。

最後に本実施計画の期間は、令和5年度から令和7年度の3カ年とします。計画は、社会情勢や美術博物館をとりまく環境の変化などにより、適宜見直しを検討しながら事業を進めたいと考えております。以上で、苫小牧市美術博物館実施計画・4期目についての説明を終わらせていただきます。

会長

只今の苫小牧市美術博物館実施計画について、何か意見や質問等はありませんか。

各委員

なし

会長

次に、令和5年度事業計画について説明をお願いします。

事務局

苫小牧市美術博物館実施計画を補足しながら、令和5年度美術博物館事業計画資料に基づいて説明

会長

只今の令和5年度事業計画について、何か意見や質問等はありませんか。

各委員

なし

会長

次に、令和5年度予算について説明をお願いします。

事務局

令和5年度予算資料に基づいて説明

会長

只今の令和5年度予算について、何か意見や質問等はありませんか。

委員

先ほどの苫小牧市美術博物館実施計画で資料の収集、保存の活動で資料のデジタル化を進めていくとのことだったが、令和5年度予算の中でデジタル化の予算は、いくらくらいなのか。

館長

資料のデジタル化につきましては、引き続きやっていきたいと考えておりますことから、令和5年度予算には計上されておられません。

現在は、各自のPC等作業の中の範囲で進めることで考えています。

会長

他に質問等はありませんか。

各委員

なし

会長

それでは、(4)の令和3年度苫小牧市美術博物館自己点検評価について、説明をお願いします。

館長

令和3年度 苫小牧市美術博物館自己点検評価について、1の概要にありますとおり、当館で現在行っている活動を振り返り、適正に行われているかを自己点検することで、課題や反省を自覚し、改善点の検討につなげるものです。

評価指標につきましては、日本博物館協会から提供されている自己点検システムや、全国の博物館等で使用されている点検項目を参考にして、作成したものです。

協議会委員の皆様にも二次評価へのご協力をお願いします。

5事業全58項目の当館の自己評価と事業報告、展示事業、教育普及事業、調査研究事業の報告書や年報などを参考に7つの分野ごとに、AからDまでの達成度の評価をお願いします。皆さんからいただいた意見も含めた評価報告書を作成し、委員の皆様にお送りするとともに、HPで公表したいと考えております。

どうぞよろしくをお願いします。

会長

それでは、令和3年度苫小牧市美術博物館自己点検評価について、ご意見・ご質問等はいかがでしょうか。

各委員

なし

会長

(5) その他について、事務局から何かありますでしょうか。

事務局

なし

会長

なければ質疑は終結させていただきます。

最後に、美術博物館から「美術博物館資料収集委員会」の設置が求められております。

資料収集要綱の中で、収集委員会の委員は5人以内の委員で組織することと、協議会の会長が指名し、協議会の承認を得ることとなっています。

この要綱に基づいて、私の方から委員を指名させていただいてよろしいでしょうか。

それでは、私のほかに4人の委員を指名させていただきます。

前回まで収集委員を務めていただいていた「林委員」、「菊地委員」のほかに「美術館友の会 内海委員」、「北洋大学教授 山田委員」を指名したいと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、協議会終了後、収集委員会を開催しますので、よろしくをお願いします。

他にないようですので、以上をもちまして令和4年度第2回美術博物館協議会を終了いたします。皆様ご協力ありがとうございました。

以上